

# 海老川流域

豊川(寒狭川)の支流で、ほぼ南北に直線的な谷をつくっています。鞍掛山と棚山を源流として、海老と玖老勢の集落がある段丘をつくって長楽で豊川に合流します。江戸時代から信州へ続く伊那街道としてひらかれ、海老は宿場町として栄えました。

昭和に入ると田口鉄道が開通し、昭和43年の廃線まで、地域の足として愛されてきました。今でも一部が車道や歩道として活用され、線路跡をたどることができます。

双瀬のトンネル(双瀬隧道)



安山岩の岩床をくりぬいてつくられました。田口鉄道の隧道として掘られ、現在は車道として利用されています。安山岩マagmaが貫入し、冷却するときに体積が縮まってできる柱状節理が観察できます。



## 玖老勢

古代から中世にかけては、河床の岩が黒いことから黒瀬郷と呼ばれていました。黒い岩は約1800万年前に堆積した泥岩で、山びこの丘に行く郷中橋の下流側に、みごとな地層が現れています。海老川左岸の山々は、設楽層群の火成岩。右岸は領家変成岩からなり、海老川沿いは設楽層群の海成の堆積岩が分布しています。

安山岩にかかると、海老の海えび

## 海老

集落の形がエビに似ているとか、川エビがたくさんいたからとか、エビズルが繁茂していたからなどと地名の由来には諸説あります。江戸時代には旗本海老菅沼氏の陣屋がありました。

棚山 687m

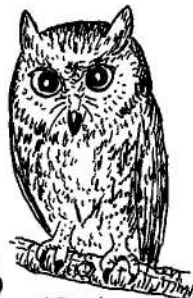
## 棚山

鳳来寺山の北に位置し、山体は流紋岩、松脂岩、デイサイト、凝灰岩などの火砕岩からなります。棚山から転げ落ちたと考えられる松脂岩の巨岩が、山麓に鎮座し、大石の地名になっています。棚山の火山砕屑岩中には、たびたびオパールが含まれていることがあります。珪酸成分に富む流紋岩質凝灰角礫岩などの空隙にオパールが沈殿し、充填したような状態で産出します。時には球顆となって産することもありました。

鳳来寺山 695m



## 仙坂峠の仏法僧



4月下旬から6月の繁殖期には、コリバズクの鳴き声が聞けます。

仙坂トンネル 仙坂峠 622m

## 四谷の千枚田



鞍掛山麓にひろがる棚田です。土石流でできた傾斜地を先人達が棚田に作りあげました。現在は約400枚の水田が耕作されています。日本の棚田百選に選定されました。土石流で運ばれてきた転石で組んだ石垣が高低差210mの棚田を支え、見事な景観を作りだしています。

## 梅の里

川売は日本の里百選に選ばれた梅の里として知られています。早春には、満開の梅花に浮かぶ家々の屋根が、絵画を見ているようです。

